

県会議員 奥村のり子の 読者ニュース

2016年9月4日 第231号
 奥村のり子生活相談所
 〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
 ☎&FAX 073-427-7121
 Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp



医療保険料納入の実態は？…… 困ったときは「相談下さい」

9月に入りました。さまざまな切実な要求を県に届け、活動が行われます。来年度の予算に反映させるように9月議会もがんばります。先日、後期高齢者医療や国保の保険料納入状況の直近データ（2015年6月1日）を求めました。

後期高齢者医療保険料の滞納者数は836人、短期被保険者証交付は170人です。差押え件数23件、国保では滞納10、465世帯です。差押えは145世帯

です。短期被保険者証交付は3,451世帯で、被保険者資格証明書は2,033世帯に交付されています。

保険料が払えず医療を受け

られない、がまんをしているなど、命に関わる問題です。ぜひ、お近くの党議員の生活相談所にお越し下さい。

安倍内閣は参院選が終わったとたん、医療・介護の改悪を一気に具体化し始めました。医療では参院選投票日のわずか4日後に75歳以上の窓口負担を現在の1割から2割に倍増する計画を議論しています。ひとり一人が声を上げ、力をあわせて安心して住めるまちに行きましょう。

(奥村のり子)

大門参院議員熱弁

8月28日大門みきし参院議員の参加で、参議院選挙後の国会の様子や経済問題などで講演を頂きました。会場は満員で講演のあと質問もありました。(写真)



またまた！年金運用損5.2兆円



年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が2015年度(15年4月～16年3月期)で5兆3千億円の運用損失したのは以前に書きました。

引き続き今年4～6月期も5兆2342億円の巨額損失とは驚愕です。14年に「アベノミクス」は「株高」と見せかけるため、株投資を倍増して公的年金から流し込んだアベ首相の責任です。だが本人は「長い目でみれば利益はでる」と平然としています

が、株式投資の拡大後は累積でも1兆円こす損失です。2月の予算委員会で「想定外の出ないなら当然、支払いに影響する」と年金減額に言及。国民から預かった資金を失って何という言いさまでしよう！

「赤旗」によれば「積立金での株価つり上げは市場をゆがめ、投機筋や銀行、証券会社が巨額の利益を得る一方で一般投資家や労働者は苦しめられる。だから米国でさえ公的年金の株式運用はしない。アベ首相は世界でも異常です」と。こんな首相で長続きすると年金は減る、現役世代は保険料アップの連続です。

社会保障解体と戦争法、共謀罪、改憲、原発、沖縄新基地推進など暴走に暴走を重ねるアベ政権打倒へいよいよ次の総選挙は重大です。(編集室)

- 9月2日 市駅前吉宗像前宣伝、会議
- 3日 医労連大会あいさつ
- 4日 会議
- 5日 河西無料生活相談、社保不服審査請求行動、議会準備
- 6日 会議、県大運動要求行動
- 7日 議会準備
- 8日 本会議、市駅無料生活相談

レポート

Relay talk

Relay talk

市中心部の学校跡地

伏虎中学校跡地利用については、市民会館と薬学部を設置を検討しています。しかしこの取り組みに対する市の姿勢について、疑問の声が多数出されています。

この計画は、城北小学校の敷地に建設中の小中一貫校設置に伴い、伏虎中学校の跡地の利活用として、市民会館と薬学部を設置しようというものです。この計画について市長は、当初、跡地に薬学部の誘致を考え知事と話し合いをしていたが、市民会館が現地で建て替えが難しいので薬学部と市民会館の二つの施設を造りたい旨を伝えたと話しています。すでに、薬学部の基本計画が県から発表されています。また、薬学部設置の為の土地の無償貸与に係

市民会館と薬学部の併設に疑問点

る議案が今回の議会に提案されています。元々は市民会館の設置が先にあつた話であり、伏虎中学校の跡地に二つの施設を建てるには狭いのではないかの疑問や市民会館の基本計画の中身が不透明な中で、先に薬学部の設置に係る議題の賛否が問われれば、市民会館設置に係る議論を狭めるのではないかの危惧があります。市民会館の機能が分かる基本計画が11月まで出ない中で、その十分な議論ができないにもかかわらず、県に併せて計画を進めようとする姿勢に問題があります。

また、小中一貫校の設置により生まれた、雄湊小学校跡地・本町小学校跡地の活用について、市長はそれぞれにも大学を誘致し、まちなかの賑わいを創出したいとの考えも示しています。雄湊小学校跡地には4年生の看護大学の誘致が発表されていますが、本町小学校跡地には、大学誘致と認定こども園併設の構想(園が併設できない場合は他の敷地への建設を検討)となっています。

党市議会議員 中村あさと

